



# たかはるちょう

## 第60号

平成29年5月臨時会(第2回)  
平成29年6月定例会(第3回)

# 議会だより



平成29年6月期 子牛品評会(出口畜産振興センター)

## もくじ

- 議会構成(P2)
- 5月臨時議会・6月定例会のあらまし(P3~P4)
- 一般質問(P6~P10)
- 茶飲み場紹介(P12)



町木(たちばな)

■発行/高原町議会  
 ■編集/議会だより編集委員会  
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138  
 ■発行日 平成29年7月18日



the most beautiful  
villages  
in japan

副議長あいさつ



副議長  
清水 公雄

副議長就任のご挨拶を申し上げます。

5月の臨時議会におきまして、副議長に就任しました。高原町議会では、平成26年3月に議会基本条例を制定し、地方自治法が定める規定を遵守し積極的な情報公開政策活動、町民参加の推進と議員の自己研鑽と資質の向上に努めて参りたいと思っております。

又、一般会計予算決算常任委員長としても二元代表制としての一翼を担う議会としての役割を果たしたいと思っております。

尚、町民と歩む議会を目指し議長を補佐し、町民の皆様への附託に答えるため誠心誠意努めて参りたいと思っております。

宜しくお願い致します。

**新 高原町議会委員会等の構成**

議長 宮 司 勤

副議長 清 水 公 雄

総務経済常任委員会	
委員長	温 谷 文 雄
副委員長	反 田 吉 己
委 員	松 元 茂 春
々	中 村 昇
々	宮 司 勤

文教厚生常任委員会	
委員長	入 佐 廣 登
副委員長	陣 圭 介
委 員	益 本 一 博
々	北 迫 泉
々	清 水 公 雄

議会運営委員会	
委員長	温 谷 文 雄
副委員長	入 佐 廣 登
委 員	反 田 吉 己
々	陣 圭 介
々	清 水 公 雄

一般会計予算・決算常任委員会 (全議員で構成)	
委員長	清 水 公 雄
副委員長	反 田 吉 己

議会だより編集委員会	
委員長	松 元 茂 春
副委員長	中 村 昇
委 員	益 本 一 博
々	陣 圭 介

活性化対策特別委員会 (議長を除く9名で構成)	
委員長	入 佐 廣 登
副委員長	温 谷 文 雄

西諸広域行政事務組合	
議 員	中 村 昇
	反 田 吉 己
監査委員	松 元 茂 春

高原町監査委員	
監査委員	北 迫 泉

霧島美化センター事務組合	
議 員	益 本 一 博
々	温 谷 文 雄
々	陣 圭 介

都市計画審議会	
委 員	松 元 茂 春
々	中 村 昇
々	温 谷 文 雄
々	反 田 吉 己

(平成29年5月1日現在)



# 6月定例議会 あらまし

6月議会が6月14日に招集、6月20日までの7日間の日程で開催されました。今定例会は、報告3件、同意7件、議案9件の合計19件が提出されました。うち、「高原町土地開発公社の解散について」と「一般会計補正予算（第1号）」は一般会計予算決算常任委員会、「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は文教厚生常任委員会での審査を経て、本会議で全体審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

また、一般質問は、5人が登壇し、教育・農政・観光・まちづくり等多岐にわたって質問がなされ、町当局の見解を質しました。

## ◎平成29年度高原町一般会計補正予算（第1号）・・・・・・・・・・可決

● 歳入歳出 **98,720千円(追加)**  
 ● 総 額 **57億7,372万円**

### 主なもの

#### ○児童福祉

- ・ 保育用品等整備事業補助金・・・・・・・・100万円（指定寄付金100万円を活用）  
町内の保育園（7か所）と児童養護施設に各10万円、学童クラブ（4か所）に各5万円。
- ・ 子ども・子育て支援交付金事業（国の交付金改正）  
学童保育・・・・・・・・299万9千円  
一時預かり事業補助金・・・・・・・・176万4千円



▲さのっ子広場

#### ○農 業

- ・ 高原町6次産業化推進支援事業補助金・・・・・・・・725万2千円  
合同会社ながのファーム 黒ニンニク加工等（機械・作業場整備）
- ・ 「大地に絵を描く」高効率生産集団支援事業・・・・・・・・450万円  
湯之元営農組合 コンバイン購入補助金
- ・ 農道整備  
狭野地区、宇都地区・・・・・・・・826万9千円  
木場谷地区・・・・・・・・1,801万円
- ・ 農業水利施設保全合理化事業・・・・・・・・550万円  
下水天原 自動転倒ゲート工事

#### ○観 光

- ・ 高原町観光振興計画策定・・・・・・・・528万2千円
- ・ 御池キャンプ場整備・・・・・・・・1,923万6千円  
街灯改修、野営場改修、トイレ撤去等



## ○教育

### ・学用品等扶助費

新入学生用品費（国の基準額の引き上げ）  
小学生 20, 470円が40, 600円に  
中学生 23, 350円が47, 400円に

### ・一般コミュニティ助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・100万円 （上後川内公民館）

折りたたみ椅子、テレビ、放送設備、扇風機、物置、グランドゴルフセット等



## ○災害復旧費

### ・総合運動公園災害復旧費工事請負費・・・・・・・・・・・・・・・・・・2, 000万円

## ◎高原町土地開発公社の解散について・・・・・・・・・・・・・・・・・・可決

高原町土地開発公社は、昭和48年の設立より、地域の秩序ある整備と町民福祉の増進に寄与することを目的に、公共用地、公用地等の取得、管理処分等を行い、本町の発展のため、その役割を果たしてきた。そのような中、平成27年度を持って、所有していた用地の処分や借入金の返済が全て終了した。今後においても、土地開発公社を通じた土地の先行取得や造成等の事業計画の予定がないということで、本町において土地開発公社としての社会的役割や目的を十分達成したのではないかと考えられ、解散するものです。

## ◎議案第26号国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険者が年々減少する中、一人当たりの医療費は年々上昇する傾向にある。

平成29年度においては、資産割を廃止することから、附加割合を応能割49%、応益割を51%とし、それに基づいて税率の改正がされている。

改正税率の算定にあたっては、平成28年度繰越金の充当や一般会計からの繰入金203, 873千円を受け入れるなどの措置を図りながら、平成29年度のそれぞれの税率が決定されている。

一人当たりの税額は、「基礎課税分が64, 517円で前年比4, 428円の増」、介護納付金が26, 517円で前年比3, 237円の増となる。

この税率によって保険税額を試算すると、

- ・被保険者数が4人
- ・所得があるのは1人のみ
- ・固定資産税額が5万円（平成28年度のみ）
- ・年間所得が300万円という家庭では、

基礎分が313, 600円、後期分が138, 500円、介護分が75, 000円となり、平成29年度保険税額は合計527, 000円となり、前年と比較して2, 000円の増額となる。



# 議会報告会



開催しました。

## 11会場に延べ138名の参加者

高原町議会では、去る5月22日（月）～5月27日（土）までの6日間にわたって開催しました。

各会場では、町民の皆さんの多くのご意見をいただき、ありがとうございました。



並木児童館

※詳細につきましては、特集号にてご報告いたします。



# 一般質問

ここが聞きたい!!

6月定例会は、5名の議員が登壇し、教育・農政・観光・まちづくり等町政の全般にわたって質問・提言等がありました。

## 税の無駄遣い抑制を!



陣 圭介議員

### ○町長の政治姿勢について

**問** 自主財源確保の方策としては、税収の確保を第一に検討すべきである。その具体的方策は?

**答** 農林水産業の振興対策、観光客の誘客を図り、商工、観光業振興と各種産業全般にわたり所得の向上に取り組む。企業誘致の促進による雇用機会の拡大や移住定住対策による税収増、課税客体の適正な把握や収納率

向上対策に努める。

### ○非正規職員の労働環境の適正化を!

**問** 非常勤職員の退職に疑義がある。経過について、当局の対応等を含めて答弁を。

**答** 平成28年3月に、職務条件等を本人へ提示、説明し、内容を承諾の上、誓約書を提出いただいた。一方退職手続きの案内を行ったのは29年3月28日。告知が雇用期間終了間際となったことでご心配をおかけし、深く反省している。臨時非常勤職員の方は終身雇用ではなく、次の就職の機会を失ってしまうケースもある。その意味から4年以内の年

限を設けた経緯もある。今後きちんと整理する。

### ○環境行政について

**問** 鹿児山地区に、路盤材として使用される資材の搬置場がある。当該用地における排水処理等の調査結果は?

**答** 当該資材の置き場が6箇所と産業廃棄物の仮置場が2箇所。排水施設はなく地下浸透。業者独自にpH測定試験を実施し、当局も測定結果から1年間のpHの幅は5・0から6・5の範囲であることを確認した。アルカリ成分は酸性土壌により中和されたものと考える。

### ○各種健診等の実効性向上を!

**問** 各種健診の結果、経過観察が必要な場合に、病院

と担当課との連携という点についてどう考えるのか?

**答** 住民の健康を守る立場から、保健・医療・福祉部門の更なる連携を進め、町民の健康づくりに努める。



高原病院内科診療

### ○まちづくり・観光事業等について

**問** ふるさと納税について、総務省通知による返礼割合

の見直しの方針は?

**答** 町、事業者の方々にとってよりよい制度を確立するため、返礼割合の見直しについては慎重な対応が必要であり、年明け以降に実施したい。

**問** 各種団体に対する補助金について、恒常的性質をもって交付すべきものではないとも考えるが、本町が単独で支出している補助金全般の基本的考え方は?

**答** 運営補助については、団体の活動内容が行政を補完する重要な役割を担っていることから、中長期的な支援が必要。事業費補助については、補助目的が達成したもののや効果の少なくなったものについては、縮小、廃止が基本。





# 団地の維持・更新を計画的に！！



益本 一博 議員

○町内団地の現状と方針は？

**問** 町には、7団地206戸の町営団地がある。平成25年4月当時の入居率は98%あったが、今年4月現在では87%で、低下の傾向。団地の性格も変化。団地をどう位置づけるのか。現状認識と今後の在り方は？  
**答** 町は、健康で文化的な生活を営める住宅を整備し、低廉な家賃で提供している。居住環境の充実に努力する。木造平屋住宅は、耐用年数

を超過し、老朽化している。合併浄化槽・トイレ・浴室の未整備、室内段差未解消など住環境水準は低い。

**問** 「公共施設等総合管理計画」及び「町公営住宅長寿命化計画」では、「老朽化や建築年数に応じた建て替えを行う」とあり、二葉団地の建て替えが計画されている。耐用年数を超えた住宅についてはどのように考えているか。  
**答** 二葉町団地以外の建て替えを計画。それ以外の団地は用途廃止や修繕・個別改善等で対応する。

**問** これらの団地は、耐震性もなく、極めて危険な状況。耐震化の対応は？  
**答** 古い団地は耐震基準に満たない。順次耐震診断を

行う。

**問** 二葉町団地の建て替えは予定通り実施するのか。団地の住民には説明したのか？  
**答** 平成25年度にアンケート調査を実施。住民の意向・財政状況を考慮して進める。



二葉町団地

**問** 柳町団地、下村移団地、

鹿児山団地の住環境改善のためのリフォーム等の計画はないか。

**答** 住環境の整備は町の責任。個別の補修に努める。

**問** 鹿児山団地において、2階建て住宅の屋根下部分から、セメントが剥離して落下。その原因の究明と事後の対応は？  
**答** 漏水防止機能の劣化に伴うもの。専門業者に補修を依頼する。

を依頼する。

○財源確保対策を早急に

**問** 公共施設等総合管理計画をみると、すべての施設の更新費用は、総計で今後40年間に約668億円、年平均で約16億円が必要との財政見通しだ。中長期的な財政計画は？  
**答** 計画は、公共施設等の総合的な管理のための方向性を明らかにするもの。

**問** 更新・維持管理のため

の財源を確保できるのか。  
**答** 分野別に施設の縮小や廃止、維持管理・更新等に優先順位を定めた個別計画の策定を進め、補助金や地方債の活用を図りながら財源確保に努める。

**まとめ** 高原町公共施設等総合管理計画を見ると、今後、財政はもっと厳しくなる。後年に、そして、次世代に借金や負担を残さない取り組みが課題。バランスよく財政を計画的に向上させていくのかを考え、子供も高齢者も、安心して住める高原町を目指してほしい。





# ハザードマップの周知を



中村 昇 議員

## ○防災対策

**問** 地震ハザードマップを全戸に配布された。これは災害の危険性を住民に情報提供する上で重要。住民に周知するために、説明会の開催を。

**答** 住民に内容と対応を習得していただくことが重要。生きる防災マップとなるよう防災講座を開催し、周知徹底していく。

**問** 町民体育館分館について「総合体育館建設基本計画策定業務報告」の中で「分館は木造の上、戦前の建物であり、現在の構造基準に合致しておらず耐震診断及び補強設計は不可能」としている。今後、耐震化を図れない分館の取り扱いは。

**答** 昨年、文化庁より木造建造物の「登録有形文化財」の候補として照会があり、11月に調査官が分館を調査した。登録することで、耐震診断や補強工事等に対する国庫補助の可能性があることや実例の情報も聞いた。町は既に申請を行っており、早い時期に計画したい。



▶ 町民体育館分館



## ○空き家対策

**問** 町内の空き家の実態調査は。又、利活用の推進を図るため美郷町では、家財道具の処理やゴミ処理経費などに補助している。本町ではできないか。

**答** 実態調査を行い、調査戸数422戸の内、空き家住宅が267戸、そしてその中で136戸が特定空き家候補とした。利活用については町でも空き家リフォーム補助事業を行っているが、ほかにも検討していきたい。



## ○子育て支援

**問** 風邪などの病気を患う子どもを預かる病後児保育を本町でも。

**答** 町立病院において検討を指示している。

**問** 5月の臨時議会で家庭的保育事業所などの固定資産税が2分の1に減免された。無認可保育園も減免を。

**答** 条例の軽減措置の対象とならないため、今後県内の施設を調査する。



## ○総合運動公園について

**問** サッカー場など多額の維持管理費になっているが財政状況の厳しい状況の中、維持管理の在り方についてどのように考えるか。

**答** 今後も、他自治体の管理運営等も参考にしながら効果的な維持管理を行っていく。



# 防災対策の充実を



入佐 廣登 議員

## ○広原地区の防火水槽と消火栓について

**問** 広原小学校のプールは火災時に防火水槽として使用されるが、ポンプ車の出入りが不便である。以前の火災時、吸水する際に、前進後、バックで入り直しており時間を要した。

**答** 前進の進入でも、吸管の長さを考慮すると特段の支障はないが、今後訓練や研修会を通じて消防団員へ周知徹底して行く。

**問** プールから運動場、又

は給食棟横にパイプを引くなどしての給水栓の設置は出来ないか。

**答** 給水栓については、費用の面と、地域の消防水利の状況を踏まえて、今後検討すべきものと考えます。

**問** 町内全域及び、広原地区の防火水槽と消火栓の状況は。

**答** 町内の防火水槽162基、消火栓241基、内、消防団第3部管轄は、防火水槽28基、消火栓は広原小学校中心に半径200m付近で4基設置してある。



広原小プール進入口▶



## ○上広原、西広原地区の集落排水布設工事後の道路整備について

**問** 上広原、西広原地区の集落排水事業が平成7年7月から共用開始されて約22年が過ぎており、集落排水布設工事後の道路の痛みが激しくなっている。道路工事の計画は。

**答** 現在、町道の状況を把握し、国庫補助事業等の要望を行い道路改良、舗装の打ち替えに取り組んでいる。今後も道路の状況に応じ、通行の支障になる路線を優先し、計画的に整備していく。

## ○広原地区畑かん事業について

**問** 広原地区の畑かん予定地区は面積が約160haあるが、受益者も高齢となり農業後継者も現状は少ない状況である。今後どのような

な取り組みをし、また計画をして行くのか。

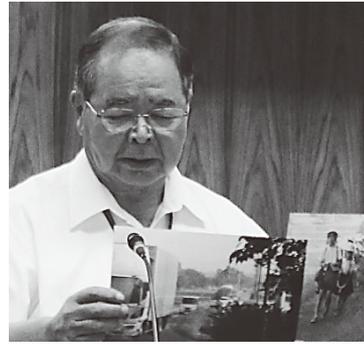
**答** 本年度推進委員会で区画整理や農道等の検討を重ね、畑かん事業について事業説明会を開催する。

その後、同意取得を行い、平成30年に換地等調整事業、平成31年に換地計画書概要作成事業を実施し、採択申請に必要な資料等を作成し、平成32年度の採択を目指している。





# 通学路の安全確保を



温谷 文雄 議員

○通学に支障となる草木の対策について



▲歩道の雑草状況

**問** 国・県・町道問わず町内の通学路に雑草が生い茂り子供が可哀そうである。早急な対策を。

**答** 国・県道を管理している小林土木事務所に早目に雑草を刈り取るよう要望したい。町道はボランティア団体や地域の協力を得て実施したい。

○ふるさと納税について

**問** 総務省は今年4月、ふるさと納税返礼品を3割以下と各自自治体に通知した。高原町は約5割の返礼品を送っている。寄付者の多くは高原町には縁もゆかりもない方が多く5割の魅力に寄付されている。3割になると今の3億円も集まらな

いし基金への積立金も減少する。事業者はパッケージや質も変更することになりブランド力も落ちる。是非5割の堅持を。

**答** 来年3月までに総務省通知に従い、事業者やふるさと納税振興協議会の理解を得て3割の返礼としたい。

○ふるさと納税の基金の使途について

**問** 高原町へのふるさと納

税者への返礼品やその他の経費を差し引いた額をふるさと振興基金として積立を行い、その基金を種々の事業に活用しているがふるさと振興金を活用するときは、高原町ふるさと振興事業審

議会に活用額の22～23%しか審問されていない。  
**答** 残の77～78%はふるさと振興基金を活用する旨の了承を得、事後承認を受けている。

# ふるさと納税



## 平成29年 第2回(5月)臨時会議決結果

議案番号	件名	議決結果	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			陣圭介	反田吉己	北迫泉	中村昇	温谷文雄	益本一博	松元茂春	清水公雄	入佐廣登	宮司勲
同意第1号	監査委員の選任について	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第1号	専決処分について（専決第4号）高原町税条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分について（専決第5号）国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分について（専決第6号）平成28年度高原町一般会計補正予算（第7号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

## 平成29年 第3回(6月)定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			益本一博	松元茂春	北迫泉	中村昇	温谷文雄	反田吉己	入佐廣登	陣圭介	清水公雄	宮司勲
報告第4号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第5号	平成28年度高原町土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第6号	平成28年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
同意第2号	農業委員会の委員の任命について（赤井田氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第3号	農業委員会の委員の任命について（石崎氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第4号	農業委員会の委員の任命について（入木氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第5号	農業委員会の委員の任命について（鹿嶋氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第6号	農業委員会の委員の任命について（堀ノ内氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第7号	農業委員会の委員の任命について（山元氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第8号	農業委員会の委員の任命について（横山氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	高原町土地開発公社の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	高原町企業立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	○	-
議案第27号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	分担金を徴収すべき事業について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	分担金を徴収すべき事業について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	平成29年度高原町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	平成29年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	平成29年度高原町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○：賛成、●：反対、除：除斥、欠：欠席



# 茶飲み場

## 中央茶飲み場



中央「茶飲み場」は、平成22年2月に、NPO法人「たかはるハートム（代表・谷山天一さん）」によって開設されました。

当初は少なかった参加者も、今では、近所の常連の方や、病院帰りや買い物で商店街に来られた方が立ち寄り、いつもたくさんの方で賑わっています。参加者が料理やお茶菓子を持ち寄り、差し入れがあったり、楽しいお茶の時間を過ごしています。お茶の時間には、隣にある身障者共同作業所「青竹館」の方々も加わり、時間を忘れて話がはずみます。木曜日には、絵手紙教室も開かれており、素晴らしい作品が館内に展示してあります。

家にこもってばかりいないで、時にはゆったりして気持ちを開放する時間を一緒に過ごしませんか。

もっと多くの方々の参加と楽しいお話をお待ちしています。



### 編集委員会

前列左より 委員長 松元茂春議員、副委員長 中村昇議員  
後列左より 委員 陣圭介議員、委員 益本一博議員

### 編集後記

◇庭先を色どる「あじさい」は、梅雨の風物詩として古くから親しまれています。◇今回、各委員会の構成がなされ、議会だよりの編集委員も新たなメンバーが決まりました。◇町民の皆様が親しまれ、愛される誌面作りに努力して参りますので今後とも宜しくお願致します。◇時節柄、体調管理には、充分気を付けてお過ごし下さい。

（松元 茂春）